

## カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 有限会社ビジネススクール・オカモト

(D)データ活用	<b>データベースを活用したデータ処理(基本編)</b>
データベースソフト活用	

コースのねらい	業務の効率化を目指し、表計算ソフトでは対応できない大量のデータを処理するために必要となるデータベース技術を理解し、基本的なデータベースの構築方法を習得する。
---------	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1	データベースの概要  (1)データベースの概念 データベースとデータベースソフトウェアについて説明する。  (2)データベースの構造と機能 各オブジェクトの役割と目的を確認し、操作方法を説明する。  (3)データベースの構築手順 データベースの設計、テーブル作成、リレーションシップ作成、クエリ作成、フォーム作成、レポート作成とデータベースを構築する手順を確認する。	12.0
	2	データベースの設計  (1)テーブルの設計技法 データベース構築の流れと設計の方法を説明し、元となるデータベースを作成する。作成するテーブルの概要を確認し、データに合った設定方法を練習する。  (2)データの分類 リレーションシップの役割と作成方法を説明する。	
	3	抽出処理(クエリ)  (1)選択クエリ クエリの概要を説明し、テーブルを基にデータの加工・抽出の仕方を練習する。  (2)抽出条件設定 条件の種類について確認し、合致するレコードの表示方法や売上データなどの集計方法を練習する。  (3)レコードの並べ替え 特定のフィールドを基準にレコードを並べ替える方法を練習する。	

カリキュラム作成のポイント
Accessを利用し、基本的なデータベースの構築方法を学習する。元となるデータベースの作成から、テーブルによるデータの格納、クエリによるデータの抽出と集計など、各オブジェクトの役割と目的を理解し、大量のデータを処理・管理ができる訓練内容とした。

講師から一言 (リーフレット掲載用 50~70字程度)
データベースを構築しながら、データベースの作成、データの格納やデータの加工・集計・抽出など大量のデータ管理ができます。